



おにぎり通信

ひとさじの会ニュースレター 2016

2016年6月30日

発行：社会慈業委員会（ひとさじの会）

〒111-0022

東京都台東区清川 1-8-11 光照院内

hitosajinokai@gmail.com

ニュースレター発行によせて

ひとさじの会 代表 高瀬顕功



目次

- 1 頁：巻頭言「ニュースレター発行によせて」
- 2 頁：活動報告、ひとさじニュース
- 3 頁：今年度の活動予定
- 4 頁：決算報告、寄附・支援者一覧

早いものでひとさじの会が発足し、7年が経とうとしています。ひとくちに7年といいますが、生まれた子どもが小学校に入学するくらいの月日が流れたということです。これまで続けてきたことをうれしく思うべきでしょうか。それとも、まだ活動を続けなければいけない社会状況を憂うべきでしょうか。

会の発足当時、まだ大学院生だった私も、いまやとうに30を過ぎ、代表という大役を仰せつかりました。山谷地区、浅草地区を中心に行ってきた炊き出し・夜回り活動もコースを拡大し、現在では5つのコース（山谷いろは会商店街コース、浅草寺周辺コース、上野コース、隅田川岸台東コース、隅田川岸墨田コース）を手分けして回るようになりました。持参するおにぎりは、なんと250個ほどになります。

ひとさじの会では、炊き出し・夜回り活動のほか、葬送支援活動、施米支援の推進活動を3つの柱として行っています。夏祭りでの慰霊追悼法要も変わらず継続しています。フードバンクとの協働は、「米一升運

動」として、滋賀、東北、大分各教区で展開されるようになりました。発足以来、どの活動も継続してこられたのは活動にご参加くださる皆様、ご支援くださる皆様のおかげです。あらためてここに御礼申し上げます。

さて、一方で、参加や寄付により、ひとさじの会を応援してくださる皆様にきちんと報告をしてきませんでした。私たちが皆様の支援をいただいて、どのような活動をしているかをお伝えすることは、浄財をあずかる団体としては必要なことでしょう。

発足から7年たち、組織の体制もようやく整ってまいりました。昨年末には、広報用のリーフレットを作成し、イベントや講演の際にお配りしております。遅きに失した感もありますが、ここにひとさじの会のニュースレター「おにぎり通信」を発行し、ご支援いただいている皆さま方へ活動報告ならびに情報発信を行っていきたいと思います。

このニュースレターを通じて、これからのひとさじの会をお見守りいただけましたら幸いです。 合掌

平成 27 年度

活動報告

葬送支援(平成 26 年 1 月～平成 28 年 3 月 31 日まで)

〈山友会有縁の方〉

- ・平成 27 年 4 月 墓石開眼供養法要(光照院内)
- ・納骨 6 件(山友会の墓)
- ・毎年 7 月 棚経(山友会神仏壇)

〈もやい有縁の方〉

- ・納骨 2 件(結の墓)
- ・葬儀 1 件(落合斎場)
- ・毎年 7 月 棚経(こもれば荘)
- ・毎年 11 月 合同法要(光照院本堂)

〈山野労働者福祉会館有縁の方〉

- ・平成 27 年 5 月 追悼法要(玉姫公園)

〈夏祭り慰霊法要〉

- ・毎年 8 月(東池袋中央公園&山谷玉姫公園)

昨年は、活動で協力関係にある山友会のお墓が山谷の光照院に完成し、お墓には大勢の人がご参拝くださっています。その姿に、葬儀でなくとも、亡き仲間のために手を合わせる場所と機会があることの大切さをあらためて教えられます。今年の夏からは、再び新宿でも夏祭り慰霊法要が行われる予定です。



炊き出し・夜回り

- ・開催日数 24 回(原則として毎月第一・第三月曜日)
- ・配食参加者延べ人数 682 人
- ・おにぎり配布数 5,241 個
- ・医薬品配布数 2,121 点(風邪薬、胃薬等)

昨年度の炊き出し・夜回りでは、東京オリンピック開催に関連した再開発が上野や浅草地域でも進み、大規模な追い出しが起こるのではないかと懸念されたものの、それほど大きな追い出しはありませんでした。しかし、残念ながら少年による路上のおじさんたちの襲撃事件が続いてしまいました。おじさんたちの身の安全と、少年の将来のためにも、より注意深く話を聞いて歩く必要性を感じました。

米一升運動

米一升運動は、ひとさじの会メンバーの曾田俊弘さんが、平成 22 年にひとさじの会に対する遠隔地からの援助を考えたことがきっかけとなってはじめられた活動です。具体的には、寺院僧侶が、所属する地域の寺院のご本尊にお供えされる仏供米を集め、阿弥陀仏の慈悲のみ光、檀信徒の供養の真心を、食糧支援を必要とする人(団体)に伝え分かち合おうという活動です。寺院とフードバンクとの協働のモデルともなり、現在では、滋賀県、東北六県、大分、佐賀、熊本の浄土宗寺院の活動として展開しています。

支援をしたいと思っても、仕事が忙しい、高齢のために遠隔地に駆けつけることができない等、直接支援に参加できない場合があります。しかし、米一升運動の場合は、家にあるたった一合のお米をお供えいただくだけでも、多くの人々の気持ちと合わさり、震災被災地で苦しい状況にある方々や、生活困窮者支援団体等に届けられ、大きな支援になるのです。お寺と地域の人々と NPO が協働する活動の輪が、より大きくなっていくことを願い、今年度もひとさじの会では米一升運動を推進してまいります。

ひとさじニュース

公開講座報告

平成 28 年 1 月 23 日、大正大学を会場に公開講座「食から考える貧困問題—地域とお寺の協働—」を開催いたしました。

ひとさじの会にとって公開講座開催は実に 6 年ぶりのことでしたが、登壇者に曾田俊弘さん(浄土宗浄福寺住職・近江米一升運動発起人)、太田茂雄さん(フードバンク滋賀代表)、栗林知絵子さん(NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長)、齋島一匡さん(NPO 法人田楽事務局)を迎え、食をキーワードに貧困問題への様々なアプローチを学ぶことができました。特に、フードバンクの協働の実例や子ども食堂の取り組みは、これからのお寺における社会活動のモデルとなるように思います。当日は僧侶、檀信徒だけでなく NPO 関係者、大学教員、地域住民など様々な立場の人が足を運んでくださり、講座終了後の交流会も大盛況でした。今回の講座をきっかけに、多方面での連携が生まれ、貧困を身近な問題として取り組む団体、個人が増えたらありがたいことです。

その他イベント

- ・Earth Caravan 2015 in 東京
平成 27 年 7 月 19 日：ブース出展（増上寺）
- ・「THE BIG ISSUE」 support Live vol.6 りんりんふえす
平成 27 年 10 月 4 日：運営協力（梅窓院祖師堂）

在日ベトナム仏教信者会との協働

昨年度の当会における最も大きな変化は、大勢の在日ベトナム仏教徒たちが第一月曜日に参加して、ベトナム風揚げ春巻きを作り、一緒に夜回りで渡して歩いてくれるようになったことです。きっかけは、信者会代表の釈心智（グエン・ティ・ユウ）尼が、ひとさじの会の活動理念に共鳴し、在日ベトナム仏教徒たちを連れてきてくれるようになったことです。若いベトナム人留学生たちは、さらに他の国籍の学生を連れて活動に参加してくれるので、現場はとても国際色豊かになりました。一緒に準備をして、配食前にはお念仏をお称えます。みんなの声が重なった時には強い一体感を覚え、「ああ、国籍なんて関係ないんだなあ。当たり前だけど、みんな一緒なんだなあ」と、心底感じられました。「外国人」という違和感のある存在ではなく、「友達」になったとき、お互い幸せな気持ちになれるのでしょうか。

九州支部発足

本年 4 月、熊本・大分地震が発生しました。発災から 10 日後には、九州在住のひとさじの会メンバーと在日ベトナム仏教信者会メンバーが協力し、避難所の炊き出しや慰問をさせていただきました。

慰問の折、当会メンバーの一人が、避難所にいらっやった笑顔の女性に「ベトナム仏教のお守りです。どうぞおつけください」と腕輪念珠をお渡ししたところ、それまで抑えてい



た感情が噴出したのか、女性は突然号泣されました。そして、涙ながらに「自宅が倒壊し、これからどうやって生活していけばよいでしょうか」と、先が見えない不安や悩みなど、苦しい胸の内を語ったのです。

仏教者による被災地域の支援には、さまざまな形がありますが、余震が続き、先行きが不安な方々のしんどい気持ちをお聴かせいただくことは大切なことであり、いま必要なことではないかと、この時に深く考えさせられました。

この出会いを契機に、当会では九州在住のメンバーのお寺を九州支部とし、この活動拠点を軸に継続的な熊本支援を行うことを決定しました。すでに活動を展開しているさまざまな団体と協力しながら、まずは、チョコフォンデュやハーブティーを用意するなど、不安を抱えた方々の声を聴く場を設けていく予定です。みなさま、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。合掌

リーフレット完成

ひとさじの会のリーフレットを作成しました。イラストは、ふーちゃんの絵でもお世話になった鴨井猛さん。暗く重くなりがちな貧困問題への取り組みを優しいタッチで身近なものと感じさせてくれます。ぜひ、同封のリーフレットをご覧ください。多くの方に活動を知ってもらうためのツールとして活用していきたいと思います。

今年度の活動予定

本年度も毎月 2 回の炊き出し夜回り事業を中心に活動します。そのほか、生活困窮者の葬送支援として、結の墓および各支援団体のお盆・棚経・夏祭り追悼法要への出仕、各地での施米支援の呼びかけとコーディネート、炊き出し夜回り参加者向けの勉強会や振り返りの会、りんりんふえす（10 月 2 日）への協力などを予定しています。また、熊本地震の支援活動として、食に困っている子どもたちへの支援を現在計画中です。



決算報告

収入の部			(単位:円)			
科目	項目	細目	本年度 予算額	本年度 決算額	差異	備考
賛助金	賛助金		1,100,000	1,653,400	▲ 553,400	会員の賛助金(1,253,400円)、諸団体の賛助金(太田慈光会40万円)の合計
	事業協力金		500,000	500,000	0	※H27年度より(公財)浄土宗ともいき財団より事業協力金として50万円
	合計		1,600,000	2,153,400	▲ 553,400	
その他	雑収入		10,000	225	9,775	銀行口座利息
	繰越金		1,895,629	1,895,629	0	昨年度繰越金
	合計		1,905,629	1,895,854	9,775	
	総計		3,505,629	4,049,254	▲ 543,625	
支出の部						
科目	項目	細目	本年度 予算額	本年度 決算額	差異	備考
事業費	炊き出し費 (※決算額合計 ¥570,497)	食材		164,288		アメ(¥76,063)、おにぎり(¥22,967)、その他食材ふりかけ等(¥65,258)
		医薬品	1,000,000	124,981	429,503	医薬品
		配布物		186,769		下着、サンダル、ブランケット、カイロ、交通費
		消耗品等		94,459		サランラップ、紙コップなど
	研修会費	設営費、謝礼等	150,000	232,414	▲ 82,414	公開講座「食から考える貧困問題—地域とお寺の協働—」
	活動推進費	企画製作費	300,000	125,226	174,774	ホームページ、バッジ、リーフレット等
	設備費	倉庫等	550,000	501,650	48,350	炊き出し会場賃貸費[(公財)浄土宗ともいき財団の賛助金から支出]、米保管庫
提携事業費		200,000	104,766	95,234	りんりんフェス(¥34,426)、夏祭り(¥52,663)、アースキャラバン(¥17,677)	
	緊急時支援活動費	被災地支援	300,000	0	300,000	
	合計		2,500,000	1,534,553	965,447	
管理費	事務消耗品費		50,000	48,544	1,456	事務用品
	通信費		100,000	6,410	93,590	郵送料等
	雑費		200,000	127,396	72,604	車両運搬費等
	合計		350,000	182,350	167,650	
予備費			655,629	0	655,629	
	総計		3,505,629	1,716,903	1,788,726	
総収入					4,049,254	
総支出					1,716,903	
次年度繰越金					2,332,351	

平成 27 年度 寄附御芳名 (敬称略)

ひとなべ会員 3 人、ひとはち会員 15 人、ひとさじ会員 11 人

(個人賛助会員様の御芳名の公表は控えさせていただきました)

そのほか下記団体より特別な支援をいただいております。

公益財団法人浄土宗ともいき財団、一般財団法人太田慈光会

来運寺(天童市)、地藏寺(有田市)、成田山新勝寺(成田市)、法学寺(長野市)、

安養寺(江戸川区)、正覚院(江東区) 皆様ありがとうございます。

昨年度、多くの賛助金をいただきましたが、賛助会員の数は減少しております。

今後ともご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。



平成 22 年度から 28 年度 浄米寄付寺院・団体 (敬称略)

無量寿庵(石巻市)、雲上寺(塩釜市)、照徳寺(仙台市)、常念寺(仙台市)、九品寺(大和町)、来運寺(天童市)、海禅寺(金沢市)、法学寺(長野市)、玄向寺(松本市)、天然寺(下高井郡)、正定寺(古河市)、荘厳寺(取手市)、大王寺(北葛飾郡)、来迎寺(香取市)、大長寺(鎌倉市)、佛導寺(大和市)、良心寺(横須賀市)、東光寺(板橋区)、大雲寺(江戸川区)、真勝院(葛飾区)、正覚院(江東区)、照光寺(江東区)、誠心寺(江東区)、西光寺(墨田区)、英信寺(台東区)、成就院(台東区)、真行院(台東区)、竹叢軒(港区)、万行寺(東村山市)、法源寺(富士市)、唯称寺(甲賀市)、勧栖寺(野洲市)、西岸寺(京都市)、法然院(京都市)、極楽寺(宇部市)

協働団体 (敬称略)

滋賀教区浄土宗青年会、大分教区浄土宗青年会、公益財団法人仏教伝道協会、NPO 越後妻有里山協働機構、NPO 山友会、認定 NPO ビックイシュー基金、認定 NPO もやい、社会福祉法人浅草寺病院

社会慈業委員会 (ひとさじの会)

代表	高瀬顕功		
副代表	服部光治	理事	金田美幸
副代表	金田昭教	理事	工藤量導
事務局長	吉水岳彦	理事	渡部教道
監査	曾田俊弘	理事	藤澤裕雅
監査	佐藤堅正	理事	安 憲永
監査	今井英之	理事	飯島弘之